

の論なるべし、

朝夷部四座 並小

朝夷は阿左比奈と訓べし、和名鈔、郡名朝夷、假字上式廿二、民部拾芥抄、國郡朝夷、○万葉集廿卷に、天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人、云々、同月九日、上總國朝夷郡防人上丁九子連大歳、

天神社

天は阿女と訓べし○祭神大己貴命、少彦名命、地名○流之口村に在す、今小鷹大明神と稱す、今安房郡に屬す、上例祭 月 日、

類社

山城國綴喜郡天神社の條見合すべし

社領

當代御朱印高十四石

莫越山神社

莫越山は奈古志夜萬と訓べし○祭神手置帆負命、彦狹知命、地名○沓見村に在す、上例祭 月 日、

下立松原神社

下立松原は志毛多知末都波良と訓べし○祭神天日鷲命、地名○牧田村に在す、上例祭 月

日、

高家神社

高家は多加伊倍と讀り○祭神大御食津神、磐鹿六雁命、地名○朝夷村に在す、上今神明と稱す、

○附録

式外郡

平群郡

和名鈔、郡名平群、倍久式廿二、民部平群、拾芥抄、郡名平群、府今平郡と稱す、○惣國風土記殘缺云、平群郡、或西限桑山、東限綴喜山、南限曼登山、北限十倉浦、

長狹郡

和名鈔、郡名長狹、奈加式廿二、民部拾芥抄、國郡長狹、○古事記、經神八井耳命者、長狹國造等之祖、○万葉集廿卷に、天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人、云々、同月九日、上総國長狹郡上丁丈部與呂麻呂、